

令和元年度 中央歯科衛生士調理製菓専門学校 高度調理経営学科 事業報告書

1. 定員と在籍者数（3月1日現在）

学 科 名	学年	学級数	定 員	学生数	備 考
高度調理経営学科	2年	1	50名	44名	
高度調理経営学科	1年	1	50名	44名	
合計		2	100名	88名	

2. 本年度の目標達成状況

(1) 数値

項 目	目標値	達成値	反省事項
来年度入学者数	50名	90% (45名)	来季は何としても定員に達するように全力を尽くしたい。
退 学 率 (%)	5%以内	8% ※1年間で 全校学生の内 7名退学	30年度生は1年次の退学が目立ったが、2年次は1。元年度生は7名退学となった。理由としては、精神的な問題、他業種への変更、学力不足等で留年の判定後退学。
留 年 率 (%)	0%	0%	
就 職 率 (%)	95%以上	98%	就職希望者43名のうち、1名のみ未定。他42名は内定をいただいた。
出 席 率 (%)	95%以上	89%	年度後半に出席率が落ちた。
試験合格率 (%)	100%	96%	技術考査42名合格(1名不合格)※1名欠席 製菓衛生師13名合格(全員合格)※13名受験

(2) 学生指導及び退学者について

- * 全体：前年度の反省を生かし、定期的に科内でミーティングを頻繁に開き、問題がある学生、並びに今後若干不安がある学生について、担任及び助手の者より報告をし、対策を練った。行動が怪しい学生については、早めに対応をしたが、学費支払いの問題等、我々では対処できないものもあった。
- * 2年生：1年次には退学者も多く出てしまったが、2年次は、一人の退学にとどまった。卒業生の内、就職希望者1名を除く全員が就職の内定をいただいた。2年生になった自覚なのか、レストラン研修でも、個々がそれぞれ努力し、お客様からも多くのお褒めのお言葉をいただき、自信になったようである。反面、厳しいお言葉も多々あり、就職に向け、大きな糧になったようである。
- * 1年生：学園生活における、規則の遵守を身に付けることを指導してきた。入学当初に比べ、後期には挨拶等言われなくてもできるようになった。補習は例年に比べ少なかったが、試験結果があまりおもわしくなかった。インターンシップを終え、一回り成長した姿に期待したい。

(3) 退学者の状況

- * 2年生：1年次は退学者が多く出てしまったが、2年次は1人だった。
- * 1年生：入学者51名の内、3名は進路変更、3名は、友人関係や家族の問題等により退学を希望した。あと1名は、学力不足、技術力不足、そして授業中の素行不良により留年となったが、本人、ご両親の希望により退学となった。

- * 全体：教員間で些細なことでも情報を共有し、学生の悩み等に真剣に向き合うことが大切である。退学者をひとりでも少なくしていかなければならない。
昨年度の反省を生かし、学生一人一人に向き合うことができた。

(4) 資格取得状況について（対策と結果）

- * 対策：カリキュラム内容及び放課後を使い、早期より対策授業を実施。過去問等も作成し、合格点に達するまで補講等も行った。
歯科衛生学科の先生から、国試対策のレクチャーを受ける。
- * 結果：技術考査は1名が不合格。製菓衛生師試験は受験者13名合格であった。
来年度は、全員が合格できるよう、早期より徹底的に指導、対処していきたい。

(5) 入学者数について（広報活動も含めて）

- * 体験入学の内容、実施時期、ガイダンスにもより力を入れた。メニュー内容にも工夫を加え、学スタの数も増やし、細かなサービスを心掛けた。
- * 実習室内のデコレーションの充実化を図り、また、食材やデザートを体験者が好きなものを取りに行けるよう、動きのある体験入学とした。
小澤先生にもデモンストレーションを担当していただき、女性が活躍する職種であることもアピールした。
- * プロデモンストレーションの時間を短縮し、体験実習の時間を増やした。体験者からのアンケートに基づいたもので、結果、体験者からも大変好評であった。
- * 最終的には定員を大きく下回る45名となった。（毎年入学がある某高校から一人の入学者がなかったのが響いた。理由を知り、次年度の方策としたい。

(6) 教職員の資質の向上

- * 新入教員の入れ替えもなく、特に大きな問題もなく職務を遂行できた。
- * 次第に、科内の連携もとれ、「ほう・れん・そう」を実行できた。
- * 学生に対する態度、言葉遣い等に、以前より厳しくチェックをし、学生がストレスなく楽しい学園生活をおくれるよう心掛けた。また、ハラスメントによる被害をなくすことにも全職員がそれを遂行した。

3. 就職の状況

卒業生44名 就職希望者43名 就職内定者42名（就職率98%）

- * 求人状況：伊豆、箱根を始めとするホテル、旅館、県東部地域の製菓店、レストラン、首都圏のホテル、レストラン、料亭などの専門店などから多くの求人をいただき、就職の内定をいただけた。
インターンシップから就職につながるケースも見られ、特に首都圏のホテルでは、一流ホテルになるほど、インターンシップで研修を行うことの重要性が浮き彫りになった。
が一方、インターンシップでお世話になったホテルへ受験したが不合格となるケースもを有り、残念なこともあった。
東京五輪を控え、それに伴う求人も増えた。
また、病院給食、保育園給食からの求人もあり、5名が内定をいただいた。

4. 行事の状況

別紙、行事予定表をご参照ください。

5. 防災実施内容

- * 訓練日：令和元年9月30日（月）10：40～
- * 参加者数：1年生46名，2年生46名，教員11名 合計103名
- * 訓練内容：避難経路と避難場所の確認、消火器の扱い方。
- * 反省事項：本年度も、昨年度同様、有事の際の避難経路、広域避難場所の確認に加え、教員間の連携、学生への意識向上を図ったが、訓練という意識が強く、多少気を抜いている学生の姿もあった。
天候が不安定で、煙からの避難方法に体験ができず残念であった。

6. 設備の状況

- * 各教室、実習室内では、大きな改修工事等はなかったが、既存の設備について、調理器具等の使用可、不可の振り分け、その他設備の保守、維持を心掛けた。
- ・年度末には、各フローを清掃業者に委託をし、床の剥離等を行った。

7. 修理修繕の状況

- * 師範台及びスチコン、真空包装器のメンテナンスの実施。
- * 3階実習室内の洗濯機が故障し、新規購入をしていただいた。

8. 目標の達成

(1) 組織目標の達成度

年度初めに計画した目標の入学者数の確保には至らなかった。（45名）
就職も1名の希望しない者以外は全員内定をいただいた。
退学者は、例年に比べ多く出てしまった。特に1年生の退学が目立った。
進路変更や、友人同士のトラブル、学力不足等による理由での退学であった。
担任をはじめ、他の教職員も個々に対しコミュニケーションをとり、退学にならないように努めたが、結果的に退学となってしまった。

学内カウンセリングを実施したが、利用した学生が、前年より増加したようであった。

(2) 個人の目標達成度

	氏名	役職	担当	目標達成度
1	高橋 涉	学科長	運営・管理 調理実習	個人的な目標はある程度達成できたが、科として退学者が多く出てしまったり、入学者が定員に満たなかったりと、反省すべき点が多々ある。オープンキャンパスの参加者誘致も、昨年度よりも多少落ち込んだ。早急な対策をとる必要がある。 目標達成度：60%
2	小川 悟	副学科長	2年担任 調理実習 介護食士講座	理由はともあれ2年次で1名の退学者を出してしまった。学生との時間をもっと捻出すべきと感じる。早めの就職活動により、コロナの影響もなく概ね学生の希望先へ決めることができたように思う。自身のガイダンスからの体験入学参加者がまだ少ないと感じる。 目標達成度：70%
		教諭	製菓実習	製菓衛生師国家試験の静岡県の合格率は100%で

3	森本圭一		製菓通信科	した。それ以外も一定の程度でクリアできたと思います。引き続き目標達成できるよう効率良く仕事を進めていきます。 目標達成度：70%
4	高野慶子	教務副主任	1年担任 食文化概論 実習助手	他の教員と情報共有して、無事に初年度の担任業務を終了することが出来ました。退学者を多く出してしまった等の反省点は多々あるので、自己の反省点を次の教員にも引き継ぎ同じ失敗を繰り返さないようにしたい。 目標達成度：70%
5	中安美咲	教務主事	実習助手 フードサイエンス	細かな事でも報告し、情報を共有するよう努めた。実習授業は在庫の確認をし、無駄がない様に発注が出来ていたが、行事などが入ると余り食材が増え在庫が多くなりがちだったと感じる。在庫の確認と同時に冷蔵庫の清掃が並行し出来た。
6	小澤彩乃	教務主事	製菓実習 実習助手	目標達成度：70% 製菓実習において、材料の計量や器具の準備等を学生が積極的に動けるよう、改革ができた。授業に関しては、きめ細やかな内容で実施できたのではないかと思います。
7	久保田朱音	教務主事	実習助手	達成度 80% 他の職員と確認をしながら冷蔵庫の清掃を行うと同時に、在庫の確認を頻繁に行うことが出来、食材の無駄を減らす事が出来たと思います。器具、備品等の整備、在庫の確認、整頓を行なったが、定期的に点検等が行う事が出来なかったので、来年度も継続し、定期的に行いたいです。
8	小原由香里	事務主事	教務事務	予算の作成は的確にできた。さらに経費削減の呼びかけを科内でできた（コピー機使用など）。広報に関しては保護者の方に説明することが多く、わかりやすい説明だったとっていただくこともあり、さらに学校の良いところをアピールしていきたい。 目標達成度 70%